



みんながつながり 「夢が育つ学校」に
国立二小だより

平成28年7月1日
国立市立国立第二小学校
校長 小林 理人

「成長」を促す準備と評価

「準備」⇒「成長」⇒「評価」⇒「自信」⇒

校長 小林 理人

感動をありがとう・・・

今年の日光移動教室の目標は「最高の思い出をつくろう」でした。

そのために子供たちは協力することや、自分たちから動くこと（主体性）を意識して3日間を過ごしました。天候にも恵まれ、同行してくださったスタッフや、宿舎の方の支えにより、大きなけがやトラブルもなく全員そろって予定していた活動で思い出をつくりました。日光移動教室3日目は爽やかな高原の空気とまぶしい初夏を思わせる日差しの中でスタートしました。朝食を済ませ、部屋を片付けた後、宿舎での生活を締めくくる閉校式を行いました。その中でいただいた宿の方のご挨拶を紹介します。

「（前略） 私は皆さんに感謝したいことがあります。それは、昨日（2日目の夜）行われた夜の集会（キャンドルファイヤー）のことです。私は皆さんの集いを最初から最後まで見せていただきました。皆さんは自分一人や自分のクラスのことだけでなく、学年全員のことを考え、みんなで声をかけ合いながら、先生方も含めて、学校全体がひとつになって会を盛りあげ、楽しんでいました。私は声をかけあっている皆さんや、学校がひとつになっている姿に感動し、目頭が熱くなりました。そして、私たちも皆さんのように一致団結してがんばろうと思いました。すばらしい集いを見せていただきありがとうございました。」

挨拶が終わると、宿の方は姿勢を正し、深々と丁寧に頭を下げてくださいました。

その言葉と姿から、私たちは宿の方の感動や感謝の思いをしっかりと受け取りました。そして、子供たちも心づくしのおもてなしをいただいたことへの感謝の気持ちを「つばさをください」の歌に込めて伝えました。

この3日間の目標である「最高の思い出をつくる」ことができた達成感と、宿舎の方への感謝の気持ちが歌声となり、さわやかな空と宿舎の方の心に響き渡りました。

成長に対する評価が自信に・・・

6年生の子供たちが、「主体性」や「協力」ということを意識し、「最高の思い出をつくる」という目標を達成することができたのは決して偶然ではありません。昨年度の野外体験教室での経験を生かし、最高学年としての活動を日常的、主体的に行ったことや、日光移動教室に向けての事前学習や準備を子供たちが中心に進めたことが3日間の活動で生かされ、目標の達成につながったのだと思います。また、そのことを宿舎の方や活動に関わったスタッフの方に認めて（評価）いただき、達成感や大きな自信につなげることができました。

一人一人の成長を見つけ伝え合う・・・

大きく成長したのは6年生だけではなくありません。毎日の生活では気付きにくい成長ですが、この1学期を振り返れば、成長は一人一人の中に必ずあります。7月は「成長」を意識して1学期を締めくくります。そして、子供の成長、学年、学級の成長、学校の成長……。様々な成長を見つけ、伝え合い、一人一人の子供の自信と次の目標への準備につなげていきます。